

■ 稚内港湾事務所が“人事院総裁賞（職域部門）”を受賞

北海道開発局 稚内開発建設部 稚内港湾事務所

我が国は四方を海に囲まれた海洋国家であり、国土面積が約 38 万 km²(世界第 61 位)であるのに対して、領海と排他的経済水域を合わせた管轄水域は、約 448 万 km²(世界第 6 位)と広く、国土面積の約 12 倍となっています。国土の狭い我が国にとって、排他的経済水域等は貴重な海洋エネルギー・鉱物資源の開発や水産資源の利用を排他的に行える貴重な場となっています。

低潮線は排他的経済水域等の幅を測定するための基線であることから、排他的経済水域等を確実に確保するためには低潮線の保全が極めて重要となっています。

稚内港湾事務所では、我が国最北の地方港湾である宗谷港の港湾区域内に位置する低潮線の保全を目的とする巡視業務を実施しています。このたび、排他的経済水域等を確保するために厳しい自然環境下での着実な巡視業務の遂行が評価され、平成 30 年度の人事院総裁賞(職域部門)を受賞しました。

授与式は、平成 31 年 2 月 14 日に東京都港区の明治記念館において執り行われ、稚内港湾事務所の冨澤所長が出席し、厳粛な空気に包まれる中、一宮人事院総裁から表彰状が授与されました。

式後は、皇居にて天皇皇后両陛下の御接見を賜り、天皇陛下から「気象条件が非常に厳しいところだと思いますが、健康に気をつけて、今後も職務に取り組まれてくださいと事務所職員の方にもお伝えください。」とのお言葉をいただきました。

稚内港湾事務所は、今後も宗谷港港湾区域内に位置する 3 ヲ所の低潮線保全区域について、年間を通した海上及び陸上からの巡視業務を実施していきます。

※人事院総裁賞とは、多年にわたる不断の努力や国民生活の向上への顕著な業績等により、公務の信頼を高めることに寄与したと認められる職員(一般職の国家公務員)又は職域を顕彰するもの(昭和 63 年創設)。



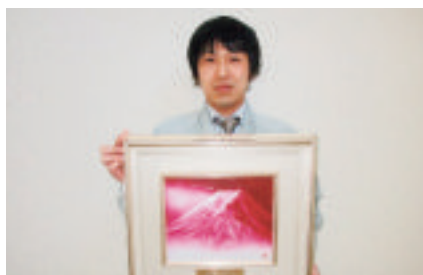
受賞の様子



受賞者全員での記念撮影



賞状



副賞の七宝額（赤富士）



人事院総裁（右端）、国交大臣官房長（左端）と記念撮影



陸上からの巡視状況



港湾業務艇「りんどう」による巡視状況

